

今年も花火きれい 「第2回 姫野々まつり」

「第2回姫野々まつり」が10月23日(日)に総合保健福祉センター「里楽」周辺で行われました。

姫野々まつり実行委員会(田中一孝会長)が、姫野々地区を活性化しようと催したもので、町内外から延べ1500人余りの人出で賑わいました。

午前10時に町内外の旨いものバザールや遊びの店、展示コーナーなどが開店。時折小雨が降る中、昼ごろにはおなかをすかした来場者の胃袋を満たしました。



「輪投げ」や「ヨーヨー」など遊びのコーナーが子どもたちのハートを釘づけ。

「トウクトウク」の試乗体験を待つ人だかりは夕暮れまで続きました。

午後からは地元団体による舞台部門が開演。子どもたちが演じる空手の型や踊り、コーラスに惜しみない拍手が送られました。

「しんじょう君」などのゆるキャラ11体が登場すると舞台前に子どもたちが殺到。熟年地元2バンドの舞台では懐かしいサウンドを同世代の方がたが楽しみました。

もちまきの後は仁淀川町



「磐門神楽」と「津野山古式神楽」が競演。夕闇に幻想的な舞が映え、午後7時には、200発余りの花火

が打ち上げられ、「今年もきれい。」「来年もやってよ」などの声が聞こえていました。

今年も成功裏のうちを終了できましたのも、物心両面でご協力賜った皆さまのおかげでございます。紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

今後も精進してまいりますので皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(姫野々まつり実行委員会)



協働の森づくり事業

「クラブツーリズム四万十源流の森」間伐体験

10月26日(水)に、津野町と協働の森づくりパートナーズ協定を締結している旅行会社クラブツーリズム株式会社(本社・東京)とクラブツーリズムパートナーズ会の皆さんが間伐作業に訪れました。

当日は、郷地区集落活動センター イチヨウノキで鮎の塩焼き、キジ汁、キビご飯ほか地元食材をつかったランチピュッフェでおもてなしを行い、食後には、「※クロモジ」を使用した菓子楊枝作りなどを体験しました。

その後、天狗高原にある『クラブツーリズム四万十源流の森』まで移動し、町有林班の指導のもと、ノコギリによる間伐作業に汗を流しました。連年参加となる方はノコギリの扱いも上達しており、森林環境保全への継続した取り組みの現れと感じられました。

協働の森づくり事業とは、企業と地域が協働して「森の再生」と「交流の促進」を柱として、手入れの行き届かない状況となつている森林(人工林)の再生を進めるもので、今後も継続して取り組んでいきます。

産業課

※クロモジ：
クスノキ科の落葉低木。

